

# 平成 30 年度学校教育自己診断の分析

大阪府立りんくう翔南高等学校

## ●生徒アンケート

### 1 評価が高かった項目

「よくあてはまる」及び「ほぼあてはまる」という肯定的な評価が7割以上を占める項目は、  
「自分のクラスは楽しい(84)」  
「自分は授業に集中して取り組んでいる(77.6)」  
「りんくう翔南高校では服装や頭髪の指導がきちんとされている(81.8)」  
「自分は校則やマナーを守っている(91.2)」  
「学校は、進路についての情報をよく知らせてくれる(71.2)」  
「文化祭や体育祭など授業以外の学校行事に参加するのは楽しい(74.9)」  
「学校で、命と人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い(70.5)」  
「教室・運動場などは、授業等の活動がしやすいように整備されている(71.4)」  
「自分は、教室、廊下、トイレなどの清掃をきちんとしている(72.1)」  
「自分は、学校からのプリントや連絡を保護者にきちんと伝えている(74.1)」  
「先生はいじめについて自分が困っていることがあれば真剣に対応してくれる(71.1)」  
であった。

昨年度アンケートより向上したポイントは「りんくう翔南高校では、服装・頭髪の指導がきちんとされている(H29年度74.9→H30年度81.8)」と「実力テストとその結果は自分の実力や進路について考えるのに役立っている(H29年度62.6→H30年度63.6)」であった。

自分のクラスが楽しい、授業に集中している、行事が楽しいなどの項目の肯定的意見が高いのは、学校生活が充実していると分析できる。

### 2 評価が低かった項目

「あまりあてはまらない」及び「まったく当てはまらない」が多数となる否定的項目が高かったのは、  
「りんくう翔南高校の部活動は活発である(H30年度47.7)」  
「自分は、授業や部活動で地域の人や近隣の学校と関わる機会が多い(42.5)」  
であり、昨年度と同様の傾向を示した。いずれも部活動に関わる項目である。これについては、学校運営協議会でも議題となり、今年度から、地域の中学校のクラブと合同練習を取り入れたり、中学校のクラブ顧問と連絡を密にとる等の工夫を行う等、様々な手段を講じてその活性化に向かいたい。

## ●保護者アンケート

### 1 評価が高かった項目

肯定的評価が7割を超える項目は、以下の通り。  
「子どもはクラスを楽しいと感じているようだ(78.8)」

「子どもは授業に集中して取り組んでいるようだ(72.4)」  
「服装や髪型の指導がきちんとなされている(82.4)」  
「子どもは、校則やマナーを守っている(89.2)」  
「子どもは文化祭や体育祭などの授業以外の学校行事に楽しんで参加している(74.0)」  
「先生は子どもの悩みや相談に親身になって応じてくれる(74.1)」  
「教室、廊下、トイレなどの清掃をきちんとしているようだ(73.9)」  
「いじめについて子どもが困っていること画れば真剣に対応してくれる(72.5)」

## 2 評価が低かった項目

否定的意見が多く、肯定的意見よりも否定的意見が高かった項目は、以下の通り。

「りんくう翔南高校の部活動は活発であると思う(肯定 47.4)

「学校で授業や部活動で地域の人と関わる機会がある(肯定 45.2)

いずれも生徒アンケートと同様、部活動に関わる項目が低位となっており、生徒に対する粘り強いアプローチ、中学校との連携が重要となっている。